



United Nations
Global Compact

20
years

Uniting business for a better world

統合SDG投資・ファイナンスに関する CFO原則

SDGsのためのCFOタスクフォース



はじめに

私たちの将来に財源を

私たちは今回の「SDG投資・ファイナンスに関するCFO原則」発表により、金融が世界で果たす役割が新しい時代に入ったことを示しています。それは社会にも市場にも、大きな影響を及ぼします。

数兆ドルの投資を管理する最高財務責任者（CFO）が結集し、持続可能な金融というパズルの完成に欠かせない最後のピースをはめ込もうとしています。

5年前に持続可能な開発目標（SDGs）が発足した際、2020年の私たちの世界を想像できた者はほとんどいませんでした。

既知のもの、未知のものを含め、地球規模の脅威が人類を近代史上最大の試練に晒しています。

新型コロナと気候という2つの危機をどのように活用すれば、より安全で持続可能かつ公平な社会を作ってゆけるのかという問題は、人類にとって最も差し迫った優先課題です。

企業界を筆頭に、民間セクター全体が、2030アジェンダの実現に向けて立ち上がろうとしています。



アルベルト・デパオリ
(Alberto De Paoli)
ENEL, S.p.A.最高財務責任者
SDGsのためのCFOタスクフォース
共同議長

コロナ禍が起きる以前から、SDGsの財源確保は困難ではありながらも、理論的には克服可能な課題と見られていました。コロナ禍によって、この課題はさらに大きくなりました。まだ克服は可能であるとはいえ、金融が対策の前面に出ることは欠かせなくなりました。この原則は私たちからの行動の呼びかけです。

私たちに必要なのは、あらゆる人のためになり、資本や投資を社会と経済全体に資する活動へと融通することで、誰一人取り残さないグローバル金融システムです。

今回の原則を定めたCFOたちは、その意味で先見の明に富んでいます。健全な社会には健全なマーケットが宿るということを認識しているからです。そこで思い描かれている世界は、企業と金融、社会が豊かさの共有を求めて連携するという、私たちの世界の姿なのです。

これこそが、私たちの望む世界、そして
私たちがともに作り
上げる世界です。
是非ご参加ください。



スコット・メイサー (Scott Mather)
PIMCO米国コア戦略担当CIO
SDGsのためのCFOタスクフォース
共同議長

CFOタスクフォースによる声明

2020年9月21日

国連グローバル・コンパクトCEO兼事務局長
サンダ・オジャンボ殿 (Sanda Ojiambo)

「統合SDG投資・ファイナンスに関するCFO原則」について

オジャンボ事務局長

SDGsのためのCFOタスクフォースのメンバーとして、私たちは今日「SDG投資・ファイナンスに関するCFO原則」を発表できることを誇りに思います。国連グローバル・コンパクトの10原則の補足を目的とするこの原則は、持続可能な開発への移行期にある企業を支援し、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて企業金融と投資を活用するという、私たちの共通のビジョンと野心から生まれたものです。

タスクフォースに加わっているCFOとして、私たちはこの原則を実施し、私たちの経験と学びを他者と共有することを約束します。また、私たちの企業の持続可能な開発への移行を大幅に加速できる統合SDG投資・ファイナンスに関する野心的なターゲットを定めるとともに、その進捗状況について報告することも約束します。

私たちの目標は、長期的で持続可能な価値創造の計画立案者として、CFOの役割に新たな意義を持たせることにあります。私たちはまた、SDGs達成に向けた効果的な民間のソリューションへと数兆ドルの投資資金を融通するのに十分な多様性と透明性を備えた企業のSDG投資・ファイナンス市場の創造も夢見ています。

私たちは、同じくグローバル・コンパクトに参加する全企業のCFOに対し、CFO原則の遵守を約束し、事業活動の中でこれを実施するための旅に加わっていただけるよう呼びかけたいと思います。また、投資家や金融仲介機関など、投資バリューチェーンのその他の関係者に対しても、サステナブル投資の財源を大幅に拡大し、持続可能な開発のための2030アジェンダ達成に向けた民間投資のポテンシャルを存分に発揮するためのツールとして、CFO原則を活用いただくようお願いしたいと思います。

敬具

SDGsのためのCFOタスクフォース・メンバー一同

CFOタスクフォース創設メンバー

最高財務責任者（CFO）

 Fernando Tennenbaum CFO, AB InBev	 Hans Ulrich Engel CFO, BASF	 Pedro Freitas CFO, Braskem	 Cécile Cabanis CFO, Danone
 Alberto De Paoli CFO, Enel	 Vincent Manier CFO, Engie Impact	 Francesco Gattai CFO, Eni	 Maria Carrasco CFO, FCC Construcción
 Tim Stone CFO, Ford	 Raimon Trias CFO, Grupo Nueva Pescanova	 Gustavo Alberto de Rosa CFO, IDB	 Kevin Berryman CFO, Jacobs
 Alessandra Genco CFO, Leonardo	 Francesco Tanzi CFO, Pirelli	 Markus Krebber CFO, RWE	 Alessandra Pasini CFO, Snam
 William Kadouch-Chassaing Deputy General Manager & CFO Société Générale	 Theresa Jang CFO, Stantec	 Agostino Scornajenchi CFO, Terna	 Alan Stewart CFO, Tesco
 Osman Yilmaz CFO, Turkcell	 Graeme Pitkethly CFO, Unilever	 Matthew Ellis CFO, Verizon	

CFOでないタスクフォースメンバー

 Scott A. Mather* CIO U.S. Core Strategies, PIMCO	 Theresa Schieber CSO, Givewith	 Giles Gunsekera CEO, Global Impact Initiative	 Kerry Adler CEO, SkyPower Global
--	--	--	--

専門家グループレベルの参加企業

 China Development Bank	 Federated Hermes	 Iberdrola	 Moody's Corporation
 China Petroleum and Chemical Corporation - Sinopec	 Sompo Asset Management	 Vieira De Almeida Legal Partners	

パートナー

 Accounting for Sustainability (A4S)	 Impact Management Project (IMP)
---	---

謝辞

制作にあたり、貴重なご助言をいただきましたThe Principles for Responsible Investment (PRI)、UNEP Finance Initiative (UNEP FI)、SDG Impact (UNDPのイニシアチブ)、The International Finance Corporation (IFC)、The Swedish International Development Cooperation Agency (SIDA)に心からの謝意を表します。

CFOタスクフォースの目標とビジョン

SDGsを企業の投資と金融に組み入れること

私たちには、グローバルなCFOコミュニティを巻き込み、企業の投資と金融をSDGsと整合させるとともに、開発途上国を含め、年間数兆ドルの企業投資を活用するという目標があります。私たちは下記の期待を共有しています。

- SDGsに欠かせない技術、部門および地域に資する企業金融の成長を促進すること
- SDGsのための革新的で効果的な民間ソリューションを通じ、資本獲得競争に加わることに
- 野心的な約束を企業投資として現実化し、ビジネスモデルの変容または適応を図り、中長期的な企業戦略を可能にするとともに、持続可能な開発に企業が及ぼすインパクトを最大限に高めること
- SDGインパクト測定をプロセス・ベースから実績ベースの方法へと進化させるとともに、SDGsに沿った成果の姿を現実世界で達成しようとする金融機関と投資家を支援すること¹
- 企業の統合SDG戦略と投資を評価し、最終的にはそのSDGsや関連のターゲット、指標への貢献度を測定するため、一貫性のある比較可能な尺度を定めること²

SDG 投資のための幅広い市場

私たちには、投資家や銀行、開発金融機関、信用格付機関、サステナビリティ評価企業を含む投資バリューチェーンと連携し、SDG投資と資本の流れに資する幅広く流動的かつ効率的な市場を創造するという目標があります。私たちは下記の期待を共有しています。

- 資本市場と金融商品の両方を含め、既存の持続可能な金融ソリューションと枠組みを土台としながら、SDGsに対する企業の貢献の財源となる幅広いソリューションを開発すること³
- 正と負の外部性を数値化し、従来の投資分析と指標（ROI、株価収益率）にサステナビリティを取り込むための方法を含め、SDGsについて最も効果的なビジネス・ソリューションの特定と価格設定に貢献すること
- 資本市場の透明性と説明責任のメカニズムを活用し、SDGリンク型の企業金融の信頼性を最大限に高めること
- タクソノミーや基準、検証方法を含め、持続可能な金融枠組みが、(i) 信頼性と比較可能性の確保と、(ii) 民間セクターにおける実験やイノベーションの奨励とのバランスを促進できるようにすること

1. Investing with SDG Outcomes: A Five-part Framework, PRI, 2020を参照。

2. SDGsは17の目標のほか、169のターゲットと232の指標で構成されています。

3. こうした枠組みとしては、国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則、サステナビリティボンド原則およびサステナビリティ・リンク・ボンド原則、インパクト・マネジメント・プロジェクト、ポジティブ・インパクト金融原則（UNEP FI）、責任銀行原則（UNEP FI）、ならびに、SDGインパクト（UNDP）が挙げられます。

タスクフォースへのCFOのコミットメント

原則の採択

私たちタスクフォースに参加するCFOは、自社の国連グローバル・コンパクト10原則に対するコミットメントを補完する意味で「統合SDG投資・ファイナンスに関するCFO原則」の遵守を約束します。私たちはCFOとして、自社の他の経営幹部や取締役会、該当する部署（戦略とサステナビリティの担当部署を含む）と連携しながら、それぞれの原則につき提案された一連のベストプラクティスの採択を図ることも約束します

青写真の作成

タスクフォースに参加するCFOとして、私たちはタスクフォースの他のメンバーやパートナー組織⁴、投資バリューチェーンの重要な主体と連携しながら、下記を含め、CFO原則実施のための指針と提言をさらに策定し、テストし、精緻化することを約束します。

- 業界別のガイダンス
- ベストプラクティスの事例
- さらにコンセプトの開発が必要な分野に関する新規調査

野心的な目標の設定

私たちはタスクフォースに参加するCFOとして、社内でCFO原則を実施するためのターゲットとスケジュールを定めることを約束します。地理的、経済的文脈による差異を認識しつつ、私たちは、CFOタスクフォースとしての集团的インパクトを最大限に高めるだけでなく、CFOコミュニティの他の部分が、企業金融・投資の持続可能な開発への移行を加速するための着想も与える野心的な個別ターゲットの設定も図ります。

個別のターゲット設定と、私たちの集团的インパクトの合算を容易にするため、私たちは下記を通じ、他のタスクフォース・メンバーと連携しながら、主な原則実施領域について妥当な主要業績指標（KPI）の特定を図ってゆきます。

- 企業の戦略と投資をSDGsと整合させること
- 金融商品の発行をSDGsと整合する戦略や投資とリンクさせること
- SDGsと整合する戦略と投資に関し、総合的な報告と情報発信を行うこと

透明性と説明責任

タスクフォースに参加するCFOとして、私たちは毎年、個別ターゲットの設定と主要業績指標に関する報告を含め、CFO原則実施に関する進捗状況を公表することを約束します。私たちは、自己評価または独立の第三者による検証を通じ、私たちの報告の信頼性を最大限に高めるよう努めます。

4. その中には、持続可能な金融枠組み、負債金融および投資家のエンゲージメントの戦略的計画、予算策定および予測に関する A4S CFO リーダーシップ・ネットワークの作業を含め、私たちのパートナーから得た関連リソースの活用が含まれます。

統合ⁱSDG投資・ファイナンスに関するCFO原則

最高財務責任者および企業財務担当者として、私たちには、自社の持続可能な開発への移行を支援するとともに、企業金融と投資を持続可能な開発目標（SDGs）の実現に活用するという責任があります。私たちはまた、数兆ドルに上る財政投資をSDGsの達成に向けた民間のソリューションへと融通するのに十分な多様性と透明性を備えた企業SDG投資・ファイナンス市場を創造する機会が訪れていることも認識しています。

よって私たちは、国連グローバル・コンパクトの10原則に対する自社のコミットメントの補足として、下記の原則の遵守を約束するとともに、私たちの社内でも、各原則で提案された一連のベストプラクティスの採用に努めてゆきます。

原則1. SDGsのインパクト・テーゼと測定

- 企業は、自社独自の能力と資産を極大化し、持続可能な開発に対する最も効果的な民間ソリューションを促進し、長期的に更新または拡大される具体的なSDGsのインパクト・テーゼⁱⁱを開発すべきである。
- 事業ポートフォリオⁱⁱⁱやサプライチェーンの分析に基づき、企業の資産、活動または業務の文脈と一般的に関連づけられるインパクトをベンチマークとしつつ、妥当なSDGsに対する顕著な負のインパクト^{iv}を特定、軽減すべきである。
- インパクト・テーゼを各国独自のニーズや、SDG投資の優先課題（気候とSDGsに関するギャップ分析および投資計画）^vと整合させるとともに適宜、各市場の独特な性質に配慮し、かつ、サステナビリティへの移行に対する共通だが差異化あるアプローチ^{vi}を尊重しながら、発展が比較的遅れている市場の優先部門に焦点を絞るべきである。
- 正式なSDGsのターゲットや指標^{vii}に基づく一貫性のある比較対象可能な指標を用い、企業の妥当なSDGsへの貢献と、顕著な悪影響の緩和を促進し、信頼できる形で測定する目標やターゲット、指標を定めるべきである。

原則2. 統合SDG戦略と投資

- 企業はそのSDGインパクト・テーゼを、既存の企業戦略とビジネスモデルを土台とする戦略目標やイニシアチブで具現化すべきである。
- SDGインパクト・テーゼと統合戦略を実施し、SDG投資の金融リスク・リターン・プロファイル（IRR）を分析するため、特定の内部資源、投資（研究開発、設備投資、M&A、海外直接投資）および財源のニーズを判定すべきである。
- 金融リスクと投資収益基準とともに、SDGsのインパクトに基づき、投資判断基準と意思決定プロセスを採用すべきである。
- 統合SDG戦略と投資の実施を促進、監視するため、コーポレート・ガバナンス・メカニズム（取締役会の監督、内部統制・監査、役員報酬および開示）を活用、強化すべきである。

原則3. 企業の統合SDGファイナンス

- 企業はそのSDGsへの貢献を支援し、SDG投資とその戦略的統合の程度に見合ったSDGリンク・ファイナンスの資金を確保するため、自社の包括的なSDGファイナンス・アプローチを策定すべきである。
- 借入（貸付・債券）と株式を含め、私募か公開取引されているかを問わず、満期の長短を含め、あらゆる金融手段をSDGリンク・ファイナンスに活用すべきである。
- 分離資産に関わる特殊目的手段や、一般的に受け入れられたインパクト・テーゼ（EUタクソノミーなど）に沿った活動から始まり、より統合が進んだSDG戦略や投資関連の汎用型実績主義の手段に至るまで、SDG整合型投資の性質と、その戦略的統合の程度に基づき、金融手段を仕組むべきである^{viii}。
- 契約メカニズム（収益活用、約款、価格設定）とコーポレート・ガバナンス監督（取締役会、内部統制、会計・監査・検証および報告）を組み合わせることで、SDGリンク型の金融商品の信頼性を最高に高めるべきである。
- 政府、開発金融機関、慈善財団およびインパクト投資家からのブレンドファイナンスを活用し、SDGsにとって不可欠でありながら、現在は資金が不足しているテクノロジーや部門、地域につき、企業投資のリスク解消と補助金支給を行うべきである。

原則4. SDGsに関する統合的なコミュニケーションと報告

- 企業は投資家との連絡や関わり合い、年次金融情報の開示、財務・サステナビリティ統合報告書などを通じ、そのSDGインパクト・テーゼ、戦略および投資に関し、投資家への積極的な情報発信を図るべきである。
- インパクトの測定と評価、投資と戦略の整合、実績の監査と監視を含め、SDG整合型の投資・ファイナンスの重要要素を加えることで、統合報告の実践を強化すべきである。
- 格付機関、外部監査人、セカンドパーティ・オピニオン提供者^{ix}と連携し、SDGインパクト、SDG整合型投資およびSDGリンク型ファイナンス関連の公開情報とデータの妥当性と正確性を確保すべきである。
- 同業他社や基準設定者と連携し、簡素化や分かりやすさ、イノベーションと比較可能性^xのバランスを促進することにより、実践の調和と、統合的報告の有益性極大化を図るべきである。

文末脚注

- i. ここで、また、本書全体を通じて「統合」という語は、CFO原則に基づく活動が新たな、または別個のプロセスではなく、既存の経営とガバナンスのプロセスに取り込まれるようにするために用いられています。「SDG整合型」および「SDGリンク型」という表現も、本書では同じコンセプトを伝えるために用いられています。
- ii. 「インパクト・テーゼ」という言葉は、企業がSDGsの達成に向けていかに貢献するかに関する変革の理論を指します。潜在的投資家を引き付けるための投資戦略を支持する妥当な根拠を指す「投資テーゼ」という言葉から派生したもので、その定式化はCFOまたは企業財務担当者の責任であるのが普通です。
- iii. 「事業ポートフォリオ」という言葉は、複数の製品またはサービス種目を擁する多様な企業のさまざまな事業部または事業単位を指します。
- iv. 「顕著なインパクト」とは相対的、絶対的に企業が有する重要または傑出したインパクトを指します。投資家が情報に基づく決定を下すために必要な情報を指す「重大性」という金融のコンセプトと関連があります。また、人権分野の「顕著」というコンセプトとも関連していますが、国連指導原則報告フレームワークはこれを、最も深刻、潜在的かつネガティブなものとして定義しています。
- v. 具体的には、パリ協定に対する自国が決定する貢献（NDC）や、SDGsの実施に関する自発的国別レビュー（VNR）などが挙げられます。
- vi. 「共通だが差異ある責任と各国の能力（CBDR-RC）」は、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）において、各国が気候変動に取り組む際の能力と責任の違いを認める原則です。
- vii. 17の持続可能な開発目標（SDGs）には、その実施を測定する169のターゲットと232の指標の一覧が含まれています。さらに詳しい指針は、GRIと国連グローバル・コンパクトが「SDGsに関するビジネス・リポーティング」に関する協業の一環として作成した「ゴールとターゲットの分析」でご覧になれます。
- viii. 特殊目的手段には、標準型債権と貸付、汎用型実績主義の手段にはSDGリンク型の債券または貸付と株式が含まれます。
- ix. セカンドパーティ・オピニオンは、グリーンボンド、ソーシャルボンドまたはサステナビリティボンドの発行にあたり、調達資金利用の枠組みが市場の期待値と業界のベストプラクティスに沿っていることを確認するために用いられます。
- x. 比較可能性は重要ではあるものの、企業は直接に定量化と比較ができない場合でも、SDGs達成に向けた取り組みを積極的に開示するよう促されています。

国連グローバル・コンパクトの10原則

二 人権

- 1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 2 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

労働

- 3 企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
- 4 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
- 5 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
- 6 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである

環境

- 7 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
- 8 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
- 9 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである

腐敗防止

- 10 企業は、強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

国連グローバル・コンパクトについて

国連グローバル・コンパクトは、コフィー・アナン国連事務総長（当時）が提唱し、アントニオ・グテーレス現国連事務総長も明確な支持を表明しているイニシアチブです。企業を中心とした様々な団体が、責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに自発的に参加することが期待されています。2000年7月26日にニューヨークの国連本部で正式に発足し、現在（2020年11月時点）では世界約160カ国で1万を超える企業と3千を超える団体が署名し、「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」の4分野・10原則を軸に活動を展開しています。

© 2020 United Nations Global Compact
685 Third Avenue New York, NY 10017, USA



United Nations
Global Compact

国連グローバル・コンパクトの定める4分野はそれぞれ下記の宣言・条約を由来としています:

- ・ 人権: 世界人権宣言 (The Universal Declaration of Human Rights)
- ・ 労働: 労働における基本的原則および権利に関するILO宣言 (The International Labour Organization's Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work)
- ・ 環境: 環境と開発に関するリオ宣言 (The Rio Declaration on Environment and Development)
- ・ 腐敗防止: 腐敗防止に関する国連条約 (The United Nations Convention Against Corruption)